



## 平成25年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 株式会社エイテイング  
コード番号 3785 URL <http://www.8ing.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤澤 知徳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長兼経営企画室長 (氏名) 津村 正幸

TEL 03-5753-8178

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年9月期第1四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第1四半期	681	51.0	233	—	233	—	180	—
24年9月期第1四半期	451	18.0	△17	—	△17	—	△17	—

(注) 包括利益 25年9月期第1四半期 180百万円 (—%) 24年9月期第1四半期 △17百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第1四半期	34.64	—
24年9月期第1四半期	△3.27	—

(注) 平成24年10月1日付けで普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。  
1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の金額は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第1四半期	2,028	1,575	77.7
24年9月期	1,677	1,447	86.3

(参考) 自己資本 25年9月期第1四半期 1,575百万円 24年9月期 1,447百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
25年9月期	—	—	—	—	—
25年9月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成24年10月1日付けで普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。  
平成25年9月期配当予想は、当該株式分割後の金額であります。  
仮に当該株式分割前に換算すると中間配当金は1株当たり0円、期末配当金は1株当たり1,000円、年間合計では1,000円となります。

### 3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,287	34.5	270	864.3	270	864.3	202	—	38.84
通期	2,638	26.7	301	34.6	304	34.1	229	—	44.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期1Q	5,523,800 株	24年9月期	5,523,800 株
② 期末自己株式数	25年9月期1Q	323,000 株	24年9月期	323,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期1Q	5,200,800 株	24年9月期1Q	5,200,800 株

(注)平成24年10月1日付けで普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。  
発行済株式数は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続をしています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	1
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	1
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	4
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	5
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	5
(5) セグメント情報等 .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるゲーム業界は、新型ゲーム機の発売や対応ソフトの発売など年末商戦に向けた動きや、ソーシャルゲームのさらなる盛り上がりとあいまって、活況を呈しました。

家庭用ゲームソフト市場におきましては、有力タイトルがヒットしたこともあり、2012年の市場規模は約2,710億円と前年とほぼ同じ規模で推移しました(株式会社エンターブレイン調べ)。また、新型ゲーム機や有力タイトルの相次ぐ発売は、市場の注目を集めました。今後も各種プラットフォームに対応したゲームソフトの発売が相次いで予定されており、市場を牽引することが期待されています。

一方、ソーシャルゲーム市場におきましては、2012年の市場規模が約3,870億円と前年約2,824億円から約137%の成長が見込まれております(矢野経済研究所調べ)。これからもスマートフォン向けを中心に人気のアニメやキャラクター等をフィーチャーしたゲームや有力タイトルの新シリーズの発売等が予定されており、市場の拡大傾向は続く予想されます。

このような環境の中、当社グループとしましては、家庭用ゲームではPS3・XBOX360・Wii U向けゲームソフト開発を中心に、複数の大型案件の開発を並行して進めております。ソーシャルゲームでは既存タイトルの運営業務を中心に、併せて有力タイトルの開発を進めております。

また、ソーシャルゲーム運営業務において工程管理の見直しの成果が徐々に始り、黒字化の見通しが立ったうえで、家庭用ゲームソフトでは下半期に計画していた案件が受注に至ったことなどにより、現状において予算の進捗率は順調に推移しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は、売上高は681,052千円(前年同四半期は売上高451,072千円)、営業利益は233,097千円(前年同四半期は営業損失17,224千円)、経常利益は233,421千円(前年同四半期は経常損失17,394千円)、四半期純利益は180,187千円(前年同四半期は四半期純損失17,052千円)となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、当社グループの事業は単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,600,236千円となり、前連結会計年度末に比べ296,539千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が200,329千円増加したことによるものであります。固定資産は427,788千円となり、前連結会計年度末に比べ54,129千円増加いたしました。

この結果、総資産は2,028,024千円となり、前連結会計年度末に比べ350,668千円増加いたしました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は452,086千円となり、前連結会計年度末に比べ222,488千円増加いたしました。これは主に前受金が186,715千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は452,086千円となり、前連結会計年度末に比べ222,488千円増加いたしました。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,575,938千円となり、前連結会計年度末に比べ128,179千円増加いたしました。これは主に四半期純利益180,187千円及び剰余金の配当52,008千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は77.7%(前連結会計年度末は86.3%)となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年9月期第2四半期(累計)の連結業績予想につきましては、平成24年11月9日に公表いたしました予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,078,166	1,278,495
受取手形及び売掛金	123,994	224,184
仕掛品	1,806	—
その他	99,730	97,555
流動資産合計	1,303,697	1,600,236
固定資産		
有形固定資産	28,422	33,358
無形固定資産	229,670	252,621
投資その他の資産	115,566	141,808
固定資産合計	373,659	427,788
資産合計	1,677,356	2,028,024
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,090	19,086
未払法人税等	—	54,852
賞与引当金	—	2,318
本社移転費用引当金	31,000	31,000
資産除去債務	4,424	4,436
その他	174,082	340,392
流動負債合計	229,597	452,086
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	210,351	210,351
資本剰余金	271,601	271,601
利益剰余金	1,157,819	1,285,999
自己株式	△192,013	△192,013
株主資本合計	1,447,758	1,575,938
純資産合計	1,447,758	1,575,938
負債純資産合計	1,677,356	2,028,024

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
売上高	451,072	681,052
売上原価	324,496	337,297
売上総利益	126,575	343,755
販売費及び一般管理費	143,799	110,657
営業利益又は営業損失(△)	△17,224	233,097
営業外収益		
還付加算金	—	136
未払配当金除斥益	146	187
その他	39	—
営業外収益合計	186	323
営業外費用		
支払利息	355	—
営業外費用合計	355	—
経常利益又は経常損失(△)	△17,394	233,421
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△17,394	233,421
法人税等	△341	53,233
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△17,052	180,187
四半期包括利益	△17,052	180,187
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△17,052	180,187

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	ゲームソフト 開発事業	モバイル コンテンツ 開発事業	ネットワーク コンテンツ 開発事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	299,114	151,957	—	451,072	—	451,072
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	299,114	151,957	—	451,072	—	451,072
セグメント利益又は損失(△)	95,463	△2,847	—	92,616	—	92,616

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	92,616
「その他」の区分の利益	—
全社費用(注)	△109,840
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△17,224

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。



II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)

当社グループは「ゲームコンテンツ開発事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、従来「ゲームソフト開発事業」、「モバイルコンテンツ開発事業」、「ネットワークコンテンツ開発事業」の3事業を報告セグメントとしておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「ゲームコンテンツ開発事業」の単一セグメントに変更しております。

当社グループでは、主に提供するコンテンツのハードウェアを分類の基準としたセグメント毎に開発体制を構築し、各種ゲームコンテンツの開発を行ってまいりました。その一方で、ゲームコンテンツ市場においてはネットワーク化やマルチプラットフォーム化が進展し、ハードウェア毎の開発環境が類似する傾向となりました。こうした市場の変化に対応するため、当社は開発組織の再構築を図り従来の事業セグメントを融合させ、当社の技術優位性を活かしたコンテンツ開発を推進しております。

このような状況を踏まえ、当社グループの組織構造の変更も含む事業展開、経営資源の配分、経営管理体制の実態等の観点から事業セグメントについて再考した結果、当社グループの事業を一体として捉えることが合理的であり、事業セグメントは単一セグメントが適切であると判断したことによるものであります。

この変更により、当社グループは単一セグメントとなることから、当第1四半期連結累計期間のセグメント記載を省略しております。